

第 39 回西日本MGK 学術大会報告

平成 26 年 7 月 2 日（水）13 時 20 分より 17 時まで、大阪薬業年金会館において第 39 回西日本 MGK 学術大会が 126 名の過去最多の参加で開催されました。その後、19 時まで 98 名の参加で懇親会が開催されました。

講演会は濱田幹事の司会により、上島代表幹事の挨拶で始まりました。第 1 講演のテーマは「ヒト頭部から発するニオイを如何に捉え、抑制するか？」と題して株式会社マンダム 原武史氏にご講演いただきました。内容は、ニオイ物質と体臭の特性、頭部から発するニオイ成分の解析、頭部臭を効果的に抑制する薬剤とメカニズム等について詳細に説明いただきました。皮脂臭、ミドル男性臭、加齢臭の香りサンプルを回していただき、実際のニオイを実感でき、面白い内容であったと思います。

第 2 講演のテーマは「加齢に伴う毛髪と頭皮の研究」と題して株式会社ミルボン 渡邊紘介氏にご講演いただきました。内容は、加齢による頭皮と毛髪のカルボニル化、毛髪のカルボニル化によつての変化等について非常に分かりやすく説明いただきました。加齢による毛髪の変化は非常に興味深く大変参考になる内容であったと思います。

第 3 講演のテーマは「様々な触感の毛髪モデルとケラチンフィルムによる触感の把握・計測とヘアカラーへの水の影響」と題して株式会社資生堂 リサーチセンター グループ リーダー・副主幹研究員 川副智行氏にご講演いただきました。内容は、人口毛髪による毛髪触感、毛髪触感センサによる毛髪触感の定量化、ケラチンフィルムの新しい知見等について詳細に説明いただきました。様々な国の毛髪触感の違いは非常に興味深く、また、ケラチンフィルムを用いた製品評価はすぐに使える実践的な内容であったと思います。

どの講演でも質問が多く、活発な意見交換が行われ、有意義な内容でありました。

懇親会は、藤巻幹事の司会により開宴し、関東幹事を代表して中村幹事に挨拶をいただき、ご講演していただいた川副先生のご発声により乾杯の音頭を執って頂き、あっという間の楽しいひと時を過ごしました。

最後に、会員の皆様が一人でも多く参加したくなるような会になるよう幹事一同励んで参りますので、皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

（文責 酒井）